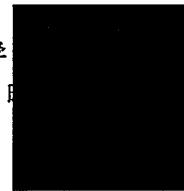


(様式第9)

近大総発第153号
平成19年10月 日

厚生労働大臣 舩添要一 殿

学校法人 近畿大学
理事長 世耕弘



近畿大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	150人
--------	------

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成19年10月1日現在)

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数					
医師	407人	68人	416.7人	看護業務補助	83人	診療エックス線技師	人					
歯科医師	8人	7人	9.8人	理学療法士	10人	<table border="1"> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>88人</td> </tr> <tr> <td>衛生検査技師</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>人</td> </tr> </table>	臨床検査技師	88人	衛生検査技師	人	その他	人
臨床検査技師	88人											
衛生検査技師	人											
その他	人											
薬剤師	50人	11人	55.7人	作業療法士	3人							
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	8人	あん摩マッサージ指圧師	人					
助産師	21人	0人	21.0人	義肢装具士	人	医療社会事業従事者	3人					
看護師	784人	24人	802.0人	臨床工学技士	10人	その他の技術員	45人					
准看護師	4人	3人	6.0人	栄養士	人	事務職員	333人					
歯科衛生士	2人	2人	4.0人	歯科技工士	2人	その他の職員	7人					
管理栄養士	7人	1人	8.0人	診療放射線技師	45人							

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者	841.6人	2.2人	843.8人
1日当たり平均外来患者	2,404.3人	59.9人	2,464.2人
1日当たり平均調剤数	4,274.2		

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術(昭和60年10月1日承認)	有・無	0人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オフ・VMRを用いた難聴ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	7人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・ ³¹ P-磁気共鳴スペクトロスコピーと ¹⁸ F-フルトラブタシドによる糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験（CD-DST法）	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術（CT透視下法）	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞（CD34陽性細胞に限る。）による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法	有・無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
・自己腫瘍（組織）を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	
・自己腫瘍（組織）及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・無	人
・顎顔面補綴	有・無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
・歯周組織再生誘導法	有・無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スクーリングの無痛療法	有・無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核手術	有・無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH）	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
強度変調放射線治療	有・無	25人
胎児心超音波検査	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
人工中耳	有・無	人
歯周組織再生誘導法	有・無	人
抗がん剤感受性試験	有・無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
生体部分肺移植術	有・無	人
活性化血小板の検出	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ 無	人
超音波骨折治療法	有・ 無	人
眼底三次元画像解析	有・ 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ 無	人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	74人	・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	16人
・多発性硬化症	51人	・ウェゲナー肉芽腫症	6人
・重症筋無力症	76人	・特発性拡張型（うっ血型）心筋症	37人
・全身性エリテマトーデス	291人	・多系統萎縮症	30人
・スモン	11人	・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	0人
・再生不良性貧血	52人	・膿疱性乾癬	12人
・サルコイドーシス	81人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	46人	・原発性胆汁性肝硬変	26人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	159人	・重症急性膵炎	11人
・特発性血小板減少性紫斑病	121人	・特発性大腿骨頭壊死症	46人
・結節性動脈周囲炎	21人	・混合性結合組織病	48人
・潰瘍性大腸炎	149人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	23人	・特発性間質性肺炎	18人
・ビュルガー病	11人	・網膜色素変性症	114人
・天疱瘡	16人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	47人	・原発性肺高血圧症	1人
・クローン病	45人	・神経線維腫症	19人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	276人	・特発性慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）	3人
・アミロイドーシス	3人	・ライソゾーム病（ファブリー [Fabry] 病）含む	0人
・後縦靭帯骨化症	62人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	5人		

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	68回	
剖検の状況	剖検症例数 81 例	剖検率 11.5 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
心血管のハイリスク患者スクリーニングのための新たな診断システムの構築とその臨床応用に関する研究	宮崎 俊一	循環器内科	1,000,000 円	補 委	厚労省
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	宮崎 俊一	循環器内科	300,000 円	補 委	厚労省
軽症糖尿病における早期薬物介入による動脈硬化性疾患の進展予防効果に関する臨床研究	宮崎 俊一	循環器内科	1,500,000 円	補 委	循環器病研究振興財団
慢性心不全治療において利尿剤が左室拡張能に及ぼす影響の検討	平野 豊	循環器内科	1,000,000 円	補 委	日本心臓財団
高齢者高血圧コホート研究	金政 健	高血圧・老年内科	230,000 円	補 委	公益信託日本動脈硬化予防研究基金
糖尿病遺伝子の機能解析：遺伝子間ならびに遺伝子環境間相互作用の解明	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,400,000 円	補 委	文部科学省(日本学術振興会)平成18年度科学研究費補助金(基盤研究B)
甲状腺乳頭腺癌における BRAF 変異と HGF 受容体の関連についての研究	大野 恭裕	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,500,000 円	補 委	大阪難病財団平成18年度医学研究助成
糖尿病における遺伝子間ならびに遺伝子環境間相互作用の解析	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	2,720,000 円	補 委	平成 18 年度私立大学等経常費補助金特別補助(高度化の推進)
甲状腺癌における BRAF と MET の関連についての研究	大野 恭裕	内分泌・代謝・糖尿病内科	920,000 円	補 委	平成 18 年度私立大学等経常費補助金特別補助(高度化の推進)

計 9 件

塩酸メトフォルミン少量療法 の臨床的有用性ならびに テーラーメイド化に関する研究	伊藤 裕進	内分泌・代謝・糖尿病 内科	210,000 円	補委	平成 18 年度私立大学等 経常費補助金特別補助（高度化の推進）
強化インスリン療法における 夜間血糖の至適コントロール 法確立に関する研究	錦野 真理子	内分泌・代謝・糖尿病 内科	210,000 円	補委	平成 18 年度私立大学等 経常費補助金特別補助（高度化の推進）
臓器特異的自己免疫疾患の 相互関係に関する研究：甲状腺 自己免疫と膵島自己免疫	守口 将典	内分泌・代謝・糖尿病 内科	210,000 円	補委	平成 18 年度私立大学等 経常費補助金特別補助（高度化の推進）
精密血流動態解析法の新規 開発による動・門脈血流の分離 定量評価と肝発癌研究への応用 （基盤研究 B）平成 18 年度	工藤 正俊	消化器内科	10,300,000 円	補委	文部科学省
超音波内視鏡下バイオセンサー 穿刺法の開発と膵疾患の局所 病態評価への応用（基盤研究 C） 平成 18 年度	北野 雅之	消化器内科	1,600,000 円	補委	文部科学省
進行性骨髄異形成症候群の 標準的治療法の確立	金丸 昭久	血液内科	500,000 円	補委	厚生労働科学研究費補助金 効率的医療技術の確立推進臨床 研究事業
特発性造血障害に関する調査 研究	金丸 昭久	血液内科	900,000 円	補委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
免疫性神経疾患における「ジシ アルシル基を持つ糖タンパク」 に対する免疫反応の解析	楠 進	神経内科	5,200,000 円	補委	文部科学省科学研究費、 基盤研究(B)
実験的自己免疫性脳脊髄炎の 病態におけるガングリオシドの 意義の検討	楠 進	神経内科	2,500,000 円	補委	文部科学省科学研究費、 特定領域(グライコミクス)
免疫性末梢神経障害の病態 解明と治療法に関する研究	楠 進	神経内科	18,000,000 円	補委	厚生労働省厚生労働科学研究 費、こころの健康科学研究事業

計 10 件

免疫性神経疾患に関する研究	楠 進	神経内科	900,000 円	補委	厚生労働省難治性疾患克服研究事業、免疫性神経疾患調査研究班
難治性疾患の画期的診断・治療法等に関する研究	楠 進	神経内科	2,000,000 円	補委	厚生労働省難治性疾患克服研究事業、難治性疾患の画期的診断・治療法等に関する研究班
難治性免疫性ニューロパチーの病態解析と治療法の解析	楠 進	神経内科	750,000 円	補委	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費(16公-1)、難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発班
スモンに関する調査研究	楠 進	神経内科	700,000 円	補委	厚生労働省難治性疾患克服研究事業、スモンに関する調査研究班
免疫性神経疾患の発病に関わる標的分子の遺伝子異常の研究	宮本 勝一	神経内科	1,800,000 円	補委	文部科学省科学研究費、基盤研究(C)
多発性硬化症動物モデルにおける内科的治療開発	宮本 勝一	神経内科	1,000,000 円	補委	大塚製薬(株)
自己免疫性ニューロパチーの電気生理学的検討	塩山 実章	神経内科	500,000 円	補委	公益信託 杉田記念脳研究助成基金
がんの生物学に基づく新しい治療法に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	1,700,000 円	補委	厚生労働省
局所限局小細胞肺癌の集学的治療に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	1,500,000 円	補委	厚生労働省
呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	中川 和彦	腫瘍内科	1,300,000 円	補委	厚生労働省
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	4,000,000 円	補委	厚生労働省
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	12,500,000 円	補委	厚生労働省

計 12 件

原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	岡本 勇	腫瘍内科	700,000 円	補委	厚生労働省
再発肺癌のゲフィチニブ／メロキシカム併用の臨床試験とトランスレーショナルリサーチ	佐藤 太郎	腫瘍内科	1,200,000 円	補委	文部科学省
膠原病の肺高血圧症に対する治療法の研究	山形 俊昭	腎臓・膠原病内科	1,500,000 円	補委	大阪難病財団
慢性活動性 EB ウイルス感染症の感染細胞におけるウイルスによる宿主シグナル伝達系路に対する影響	坂田 尚己	小児科	500,000 円	補委	森永奉仕会
消化器悪性腫瘍に対する標準的治療の確立のための多施設共同研究	塩崎 均	上部消化管外科	900,000 円	補委	厚生労働省
癌特異的キラー細胞の誘導を目指したペプチドワクチンと抗癌剤の併用による、進行・再発大腸癌の治療	服部 高史	下部消化管外科	300,000 円	補委	大阪対ガン協会
オーダーメイド乳癌化学療法を目指した乳癌幹細胞の分離とその生物学的特性の解析	綿谷 正弘	肺・乳腺内分泌外科	1,200,000 円	補委	日本学術振興会
悪性脳腫瘍に対するミクログリアを介した抗腫瘍治療法の開発	奥田 武司	脳神経外科	1,100,000 円	補委	文部科学省科学研究費
海綿静脈洞内腫瘍に対する頭蓋底アプローチと術中モニター法の確立	北野 昌彦	脳神経外科	2,000,000 円	補委	大阪難病財団
脚延長組織伸張モデルを用いたティッシュエンジニアリング	浜西 千秋	整形外科	100,000 円	補委	文部科学省
軟骨に対する機械的ストレスとガステーターの関与 4	福田 寛二	整形外科	200,000 円	補委	文部科学省

計 11 件

高脂血症が変形性膝関節症の進行に与える影響について	赤木 将男	整形外科	500,000 円	補委	文部科学省
陽極酸化ハイドロキシアパタイト含有被膜材の骨伝導材料としての有用性	浜西 千秋	整形外科	8,380,000 円	補委	文部科学省 私立大学学術研究 高度化推進事業
先端医療診断法を活用した医療技術の IT・ロボット化	福田 寛二	整形外科	4,400,000 円	補委	文部科学省 私立大学学術研究 高度化推進事業
表皮発現型蛋白質アルギニン脱イミノ酵素の転写制御因子の解明と機能解析	川田 暁	皮膚科	3,500,000 円	補委	文部科学省
ヒト表皮蛋白質アルギニン脱イミノ酵素遺伝子のエピジェネティック発現制御機構の解明	川田 暁	皮膚科	1,350,000 円	補委	私立大学等経常費 補助金特別補助 (高度化の推進) 「学術研究高度化 推進経費・共同研 究経費」 日本私 立学校振興・共済 事業団
メカニカルテストを用いた再生耳介軟骨の物理的生状の検討	磯貝 典孝	形成外科	3,510,000 円	補委	文部科学省 科学研究費
腎癌における次世代 CA9 ペプチドワクチンの開発とテーラーメイド型癌ワクチン療法	植村 天受	泌尿器科	1,700,000 円	補委	平成 18 年度科学 研究費補助金 基盤研究 (B)
PTEN-AKT シグナル伝達系を標的にした、前立腺癌の分子治療戦略	田中 基幹	泌尿器科	1,600,000 円	補委	平成 18 年度科学 研究費補助金 基盤研究 (C)
下部尿路閉塞および膀胱虚血・再還流モデルを用いた膀胱機能の検討	松本 成史	泌尿器科	500,000 円	補委	大阪難病研究財団 平成 18 年度海外 派遣助成
ヘルペスウイルスの潜伏感染と再活性化に関する研究	菅原 大輔	眼科	1,500,000 円	補委	大阪難病研究財団
自動視野計を用いた動的視野測定プログラムの開発	橋本 茂樹	眼科	1,000,000 円	補委	大阪難病研究財団

計 11 件

高輝度LEDと液晶シャッターを用いたあたらしい視野計の開発研究	松本 長太	眼科	4,160,000 円	補委	私立大学等経常費補助金特別補助
単純ヘルペスウイルスの潜伏感染と再活性化に関する研究	菅原 大輔	眼科	425,000 円	補委	財団法人大阪アイバンク
進行卵巣がんの集学的治療に関する研究	星合 昊	産婦人科	1,300,000 円	補委	厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業
子宮体がんに対する標準的化学療法の確立に関する研究	星合 昊	産婦人科	1,800,000 円	補委	厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業
子宮頸部発がんの危険因子としての喫煙に関する研究	星合 昊	産婦人科	200,000 円	補委	喫煙科学研究財団喫煙とがん研究
中長期的に展望する医療放射線の安全規制に関する研究	細野 眞	放射線科(高度先端総合医療センター)	400,000 円	補委	厚生労働省
放射能標識抗 HER2 抗体を用いた放射免疫療法の最適化に関する研究	細野 眞	放射線科(高度先端総合医療センター)	700,000 円	補委	文部科学省
強度変調放射線療法による標的体積内同時ブースト法の確立	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	1,000,000 円	補委	文部科学省
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための研究	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	600,000 円	補委	文部科学省
放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	800,000 円	補委	厚生労働省
その他、がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	西村 恭昌	放射線科(放射線腫瘍学部門)	500,000 円	補委	厚生労働省
PET-CT シミュレーションによる高精度放射線治療計画の研究	中松 清志	放射線科(放射線腫瘍学部門)	1,000,000 円	補委	(財) 医用原子力技術研究振興財団

計 12 件

「重症 SEPSIS 病態における急性血液浄化療法時に用いる抗凝固剤の炎症性サイトカイン mRNA 発現抑制からみた抗炎症作用に対する検討」	山本 雄豊	救命救急センター	2,081,000 円	補 委	H18 年度私学等 経常費補助金特別 補助（高度化の推 進）
「Septic shock における faah 遺伝子発現抑制機構」	濱口 満英	救命救急センター	500,000 円	補 委	H18 年度大学院 整備重点化経費- 研究科特別経費 (学生分)

計 2 件

合計 67 件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。